

8月7日
(火曜日)

リサイクル部品

基礎講座

今やユーザーにも馴染み深くなつた「リサイクル部品」ですが、リサイクル部品は「リユース部品」と「リビルト部品」に分類されます。

リユース部品とは、事故や長期間の使用により廃車となった使用済み自動車から取り外した部品のことを指します。リユース部品を取り扱う解体事業者は、エンジンやトランスミッション(AT・MT)、オルタネーター、コンプレッサーなど電装部品やオーディオなどの部品を正常に作動するかの確認し

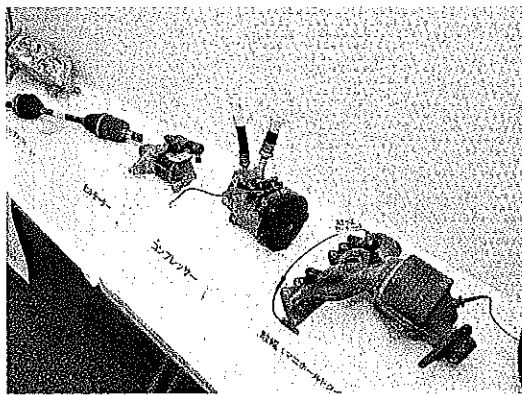
て、保証付きで販売します。また、ドアやフェンダー、バンパーといった外装部品は、キズの状態を確認した後、きれいに磨いて商品化しています。

業界団体の日本自動車リサイクル部品協議会では、昨年に主要なリユース部品について品質と保証基準を統一化しており、ユーザーへの信頼性をさらに高める取り組みを進めているところです。

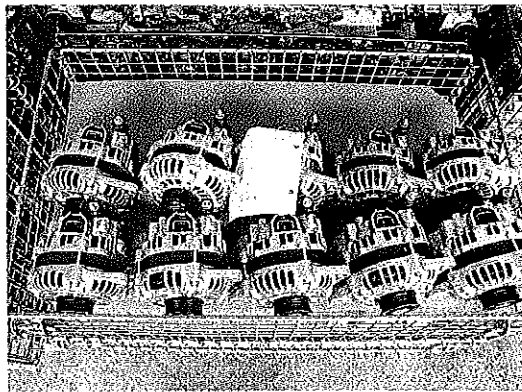
リビルト部品は、コアと呼ばれる損傷部品を分解・洗浄した後、リユース部品の中からは、ただ使用済み自動車から取り外して動作を確認していない部品もあります。また、リビルト部品も同様で、見た目はきれいで、部品交換点数が少なく、機能を完全に復元してないものも見受けられます。

リユース・リビルト部品の品質は、販売価格で判断することも可能です。実際に、安いからという理由だけで選ぶと、再び故障の原因となるケースも発生していますので、信頼のおける事業者から購入することをお勧めします。

「リユース部品」と「リビルト部品」



リユース部品の種類は豊富



リビルト部品(オルタネーター)